

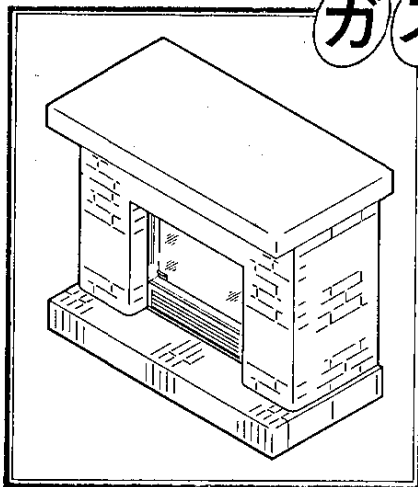


43-670・43-671・43-672・43-673・43-674・43-675・43-676
43-677・43-678・43-679・43-680・43-681・43-682

取扱説明書

ガス暖炉

型式DU200



目次

- 各部の名称 ①
- 特に注意していただきたいこと ②
- 機器の設置及び付帯工事 ③
- 使用方法 ④
- 日常の点検・お手入れ ⑤
- 炎色剤の使用法 ⑥
- 故障・異常の見分け方と処置方法 ⑦
- 長期間使用しない場合 ⑧
- 仕様 ⑨
- アフターサービス ⑩

大阪ガス株式会社

— ご愛用者の皆様へ —

このたびは、当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

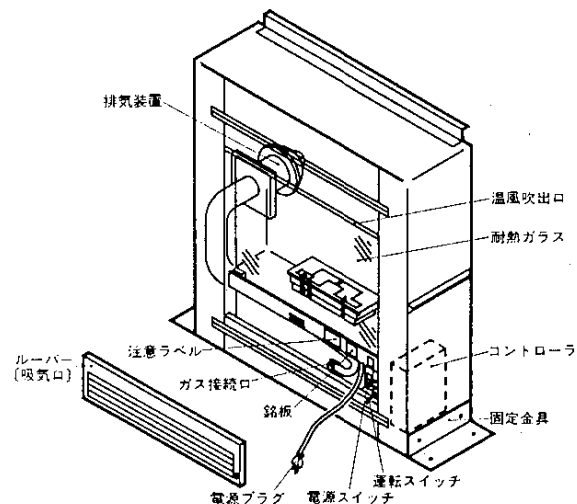
この説明書は製品の機能を十分に発揮させて頂くための手引書です。

ご使用前によくお読みになって、正しい機器の取り扱い方をマスターしてください。

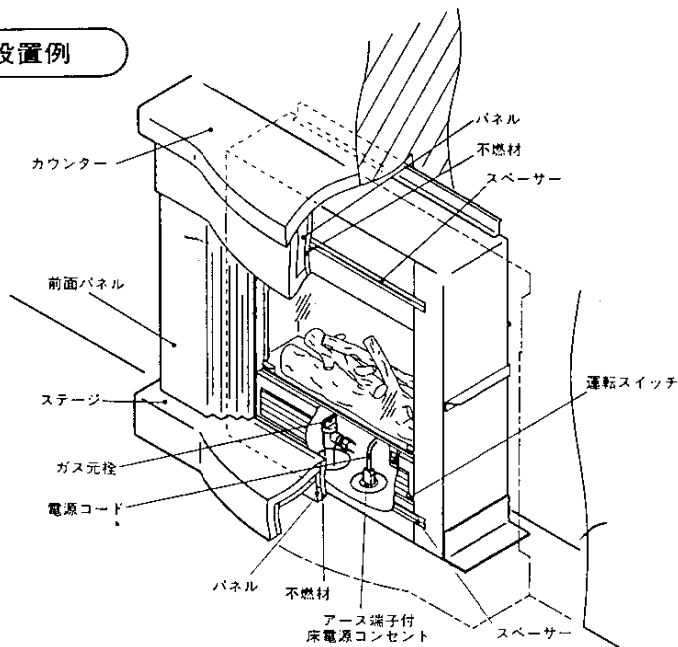
また附属の保証書もよくお読み頂き、この説明書とともに大切に保存してください。

各部の名称

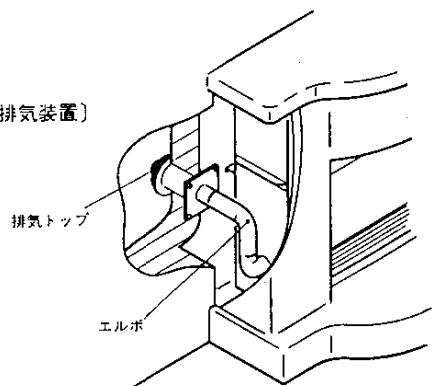
暖炉ユニット



標準設置例



〔排気装置〕



特に注意していただきたいこと

■使用ガス及び使用電源について

・機器(銘板)に表示してあるガス及び電源で使用してください。

LPガスの場合

DU 200	
LPガス用	0.33kg/h
① 株式会社 世田谷製作所	
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	125W
株式会社 世田谷製作所	

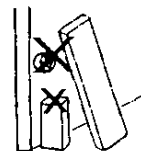
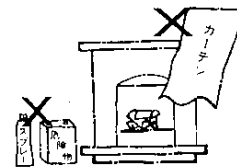
〔銘板例〕

都市ガス(13A)の場合

DU 200	
都市ガス用	13A 4,000kcal/h
① 株式会社 世田谷製作所	
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	125W
株式会社 世田谷製作所	

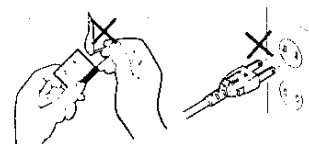
■火災予防

- ・機器の周囲及び屋外の排気トップの周囲に燃えやすい物を置かないでください。
- ・吸気口や温風吹出口は絶対にふさがないように。又、紙・布・異物などを入れないでください。
- ★機器の設置後、家具・カーテンなどの可燃物を機器に近づけないでください。
- ★ガンリン・ベンジン・各種スプレーなど引火のおそれのあるものを、機器の近くで使用しないでください。
- ・火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。



■ガス事故防止

- ・使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中しときどき正常に燃焼していることを確かめてください。
- ・就寝や外出の際にはガス元栓は必ず閉めてください。
- ・ガス漏れに気づいた時はすぐに使用をやめ、ガス元栓を閉じ窓や戸を全部開けガスを外へ出してから、販売店かガス供給業者へ連絡してください。
- ・万一、ガスが漏れた時は、すべての処理が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどをしないでください。



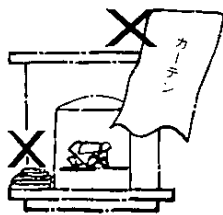
★火や火花で爆発事故を起こすことがあります。

■使用上のご注意

1・用途について

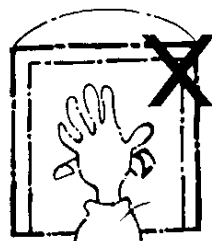
- ・暖房以外の用途には使用しないでください

★衣類の乾燥などに使用しますと、温風の出入口がふさがれ機器内に熱がこもり大変危険です。



2・やけどにご注意

- ・使用中や使用直後は機器のガラス面や屋外の排気トップは高温になっておりますので、手を触れないでください。



3・電気事故防止

- ・電源プラグをぬらしたり、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- ・電源コードを無理に曲げたり、引っ張らないでください
- ・電源コードや電源プラグがいたんだ場合は、使用を中止しお買い求めの販売店に連絡してください。

4・雷時のご注意

- ・近くで雷が鳴っている時は、電源プラグをコンセントから抜いて電気部品の破損を防いでください。

■異常時の処理

- ・万一、異常な燃焼・臭気・異常音などが感じられた時や、地震・火災など緊急の場合は、あわてずに使用をやめガス元栓を閉じてから、販売店かガス供給業者へ連絡してください。

機器の設置及び付帯工事

- ・機器の設置・移動及び付帯工事は、お買い求めの販売店にご依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

★詳しくは工事説明書を参照してください。

使用方法

■ご使用前の準備と確認

1・電源コードの接続

- ・電源スイッチがOFFになっていることを確認して、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2・ガス元栓を開く

- ・ガス元栓を全開にしてください。

★ガス元栓で火力調節は行なわないでください。

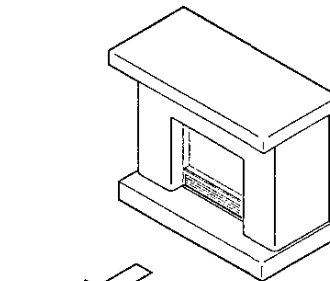
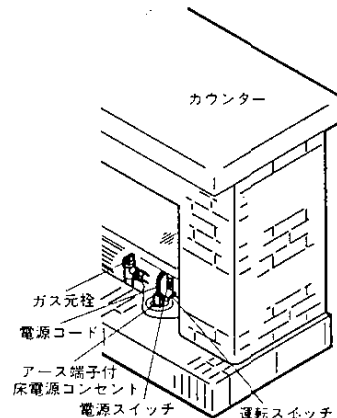
★ガス元栓を開く際には、誤って機器が接続されていないガス元栓を開いたり、他の機器のガス元栓を操作しないよう、十分注意してください。

3・炎色剤のセット

- ・炎色剤をハーナ燃焼部外側に12個ならべてください。
<9～10ページ参照>

4・機器周辺の点検

- ・吸気口や温風吹出口をふさいだり、機器の前や周辺に物を置かないでください。
- ・屋外の排気トップの周辺に燃えやすい物が置かれていないことを確認してください。
- ・電源コードなどが機器本体やガス配管に触れたり、加熱されないようにしてください。



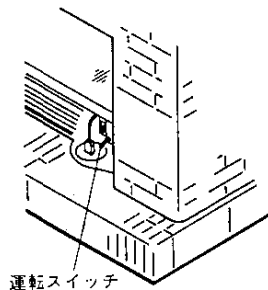
600 mm以上

操作のしかた

- ・ご使用前には「ガス元栓」を開け、電源スイッチを入れてください。
- 又、ご使用后、就寝・外出の際は「ガス元栓」を閉じ、電源スイッチを切ってください。

■点 火

- ・「運転スイッチ」をONにしてください。
- 排気ファンが回転し、自動的に点火します。
- ★温風ファンは、機器内の温度がある程度上がるまで回転しません。
5分位で温風ファンが回転して温風が出てきます。
- ・点火しない場合は、点火操作〈「運転スイッチ」のON・OFF〉を、20秒間隔で数回くり返してください。
- ★初期点火の際やシーズン始めの場合は、ガス配管中に空気が入って点火しない場合がありますので、空気が抜けるまで注意しながら、点火操作をくり返してください。



・最初にご使用されるとき、温風吹出口や屋外のトップから煙が出たり、臭いが出ることがあります。これは機器内部に付着した油や耐熱塗料などが焼けるため、まもなくなくなりますので、お部屋の換気を行いながら、そのままご使用ください。

■消 火

- ・「運転スイッチ」をOFFにしてください。
- ★温風ファンは、消火後炎が消えても、機器の過熱防止のため、しばらく回転し温風吹出口から風が出ます。
- ★「運転スイッチ」で消火せず、電源スイッチをOFFにしたり、電源プラグを抜いて消火すると、機器が異常に過熱しますので、必ず「運転スイッチ」で消火してください。

■停電後の使用方法

- ・使用中に停電になった場合には、安全装置が働き燃焼が停止します。
- 再び通電した時に自動的に点火します。
- ★停電直後は安全装置が作動してすぐ点火しない場合がありますが、その時は十分本体を冷してからご使用ください。

日常の点検・お手入れ

■点検・お手入れの際のご注意

- ・点検・お手入れの際は、必ずガス元栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜き、機器が冷えてから行ってください。
 - ・機器内部（安全装置・ファン・燃焼部・電気部品）やガス通路部分は絶対に分解しないでください。
- ### ■点 検
- ・機器の前や周辺、屋外の排気トップの周辺に燃えやすい物が置かれていないか点検してください。
 - ・電源コードなどが機器本体やガス配管に触れたり、加熱されていないか点検してください。
 - ・ガス配管・接続部よりガス漏れはありませんか。ときどき石けん水などで点検してください。
 - ・炎色剤は正しくバーナにセットされていますか。

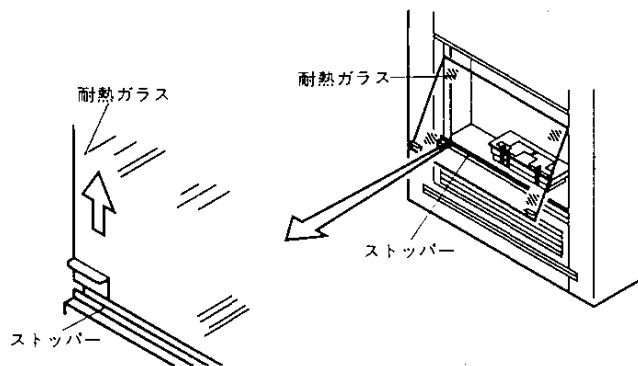
■お手入れ

A. 機器外装のお手入れ

- ・吸気口がホコリで目づまりした場合は掃除機等で取り除いてください。
- ・外装は柔らかい布を、ぬるま湯でぬらしよくしぼってからふいてください。
- ★ルーバー部をふく時は、変形させないように注意してください。
ルーバーは固定式ですから角度は変えられません。

B. 機器内装のお手入れ

- ・ガラスの内側・薪・火口などに、ホコリや白い粉が溜った時は、掃除機で取り除いてください。
- ・ガラスのはずし方
ガラスを少し上に持ち上げて、ストッパーからはずし、下側へ引き抜いてください。
- ★お手入れの後は、ガラスを元の位置へ差し込み、ルーバーを取り付けてください。



★ガラスをはずしたままでは絶対に使用しないでください。

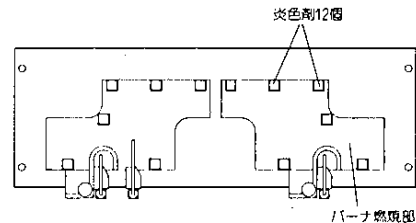
- ・お手入れの際は、揮発性のガソリン・シンナー・ベンジンなどを使用しないでください。
また、汚れをおとす際には、化学ぞうきん・みがき粉などは使用しないでください。

炎色剤の使用法

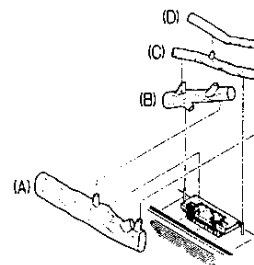
- ・本品はガスの炎を赤くする為の炎色剤です。新しく暖炉を設置した時やご使用中の暖炉の赤い炎がうすくなった時にご使用ください。
炎色剤は、この機種専用品ですので他には絶対使用しないでください。

使用方法

- (1) 暖炉から薪を取り外し下図の様に炎色剤をバーナにセットします。
★使用する炎色剤は12個です。それ以上バーナにセットしないでください。



- (2) 薪を下図の様にA・B・C・Dの順に静かにセットしてください。



★ご使用中の炎色剤を交換する場合には古い炎色剤を取り除きバーナ燃焼部を掃除機にて掃除した後新しい炎色剤をセットしてください。

取扱上の注意

- ・炎色剤はアルカリ性です。
- ★ぬれた手で炎色剤にふれないでください。
- ★炎色剤にふれた後は、必ず手を洗ってください。
- ★目、鼻、口に炎色剤がふれた場合は速やかに水で洗い流してください。
- ・不快感が残っている時は医師に相談してください。
- ★万一飲みこんだ場合は、水をのむ等の処置をし医師に相談してください。

保 管

- ・小児の手のとどかない所に保管してください。
- ・直射日光をさけ、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- ★交換用の炎色剤は別売していますので予備がなくなりましたらご注文ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になった時や不都合が生じた時は、そのままお使いにならず、直ちに使用を中止して十分な点検をし、適切な処置をしてください。

原因 \ 現象	点火しない	使用中に消火する	点火音・着火音が異常に大きい	燃焼音が異常に大きい	ガスの臭いがする	炎の色が赤くならない	処置方法	参照ページ	点検	
									使用者	販売店・ガス供給業者
電源プラグの抜け							コンセントに差し込む	5		
ガス元栓の開け忘れ							全開にする	5		
ガスが少ない (LPガス使用時)							ボンベを交換する			
ガス配管中に 空気が残っている							点火操作をくり返す	6		
使用ガスとの不一致							点検を依頼する	3		
接続部などのガス漏れ							//			
停電している							通電後、点火操作を行う	6		
温風吹出口・吸気口などが ふさがれている							ふさいでいる物を 取り除く	3 5		
屋外の排気トップが ふさがれている							//	3 5		
炎色剤をセットしていない又は消耗した							炎色剤をセットする又は交換する	9		
安全装置の作動							点検を依頼する	12		
機器内部・電気部品 などの故障							//			

■安全装置が作動した時の処置方法

・ご使用中に機器が消火してしまった時は、ご使用をやめ、次の方法並びに11ページにより適切な処置を行ってください

★自動的に再使用が可能となる装置もありますが、作動原因を取り除くために販売店にご連絡ください。

名 称	作 動 し た 場 合	処 置 方 法
フレーム安全装置	機器の炎が消えた場合に、自動的にガスを止める装置です。	数分後、再点火操作をしてください <販売店に連絡>
風圧感知装置	排気ファンの故障や、排気不良が生じた場合、自動的にガスを止める装置です。	排気トップがふさがれていないか点検してください。 故障の場合<販売店に連絡>
温風感知装置	バイメタル①……点火時などに機器内部が冷えている場合、温風吹出口から冷風が出ないようにします。	機器内部が設定温度になると自動的に温風が出ます。
	バイメタル②……吸気口の目づまりなどにより、機器内部が過熱した場合に作動して、運転を停止します。	目づまりなどの原因を取り除いてください 機器が冷えれば、再運転ができます
異常過熱防止装置	機器内部の温度が異常に過熱した場合、温度ヒューズが溶け自動的にガスを止める装置です。	温度ヒューズの交換 <販売店に連絡>

次のような現象は故障ではありません。

現 象	理 由
点火・消火の際、キシミ音が出る	加熱部の金属が加熱や冷却される際に膨張・収縮して起こる音で故障ではありません。
点火時、温風が出てくる迄に時間がかかる	使い始めのときなど、機器内部が冷えている場合に、内部が設定温度になった後、ファンが回転し温風が出ます。
消火後、しばらく温風が出てくる	機器内部を冷やすため、ファンを回転させています 消火後、約10分で自動的に止まります

長期間使用しない場合

・電源プラグをコンセントから抜き、ガス元栓を確実に閉じてください。

シーズン始めに使用する場合は

■炎色剤の使用法(⑨～⑫ページ)を参照し、炎色剤を正しくバーナにセットしてください。

・■使用方法(⑤～⑧ページ)を参照し、点火操作を行ってください。

★長期間使用していなかった場合は、ガス配管中に空気が入っていて点火しにくいことがありますので、注意しながら点火操作をくり返してください。

転居される場合

・ガスの種類には、都市ガスとLPガスがあり、都市ガスには13のガスグループの区分があります。ご転居によりガスの種類が異なる場合には、機器の調整や部品の交換(有料)が必要となりますので、転居先のガス供給業者・販売店へご相談ください。

仕様

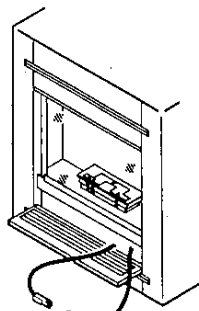
暖炉ユニット (ガスストーブ)

形式の呼び	43-670 (DU200)	
種類	暖房方式	強制対流方式
	給排気方式	強制排気 (FE) 方式
電気関係	定格電圧・周波数	AC 100V 50Hz, 60Hz *
	消費電力	75W
	電源コードの長さ	1 m
排気筒径	φ60mm	
排気トップ	取付壁厚100~300mm、壁貫通部穴径φ120mm	
安全装置	フレーム安全装置・風圧感知装置 温風感知装置・異常過熱防止装置	
外形寸法	高さ950×幅840×奥行250mm	
重量	50kg	

使用ガス	1時間当りのガス消費量	ガス接続
I3A	4,000 kcal/h	15A (R ¹ / ₂)
L Pガス	0.33 kg/h	

※周波数の切換

50Hz用はコネクター短絡、60Hz用はコネクター開放ですので、ご確認ください。



周波数切換コネクター

アフターサービス

■サービス(点検・修理)を依頼される前に

- 1・11ページの「故障・異常の見分け方と処理方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- 2・ご確認の上、それでも不具合な場合あるいは不明な場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 3・アフターサービスをお申しつける時は、次のことをお知らせください。

- (1)製品名
- (2)形式名 (銘板表示のもの)
- (3)現象 (ごさるだけ詳しく)
- (4)使用ガスの種類
- (5)道順

★お買い求めになった期日・販売店名 (住所・電話・担当者名) を控えておくとう便利です。

■保証について

- 1・保証期間は、お買い上げの日から3年間です。ただし、保証期間内でも有料となる場合もありますので、詳しくは保証書をご覧ください。

★保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保存してください。

- 2・保証期間経過後の修理については、部品交換等により引き続き性能が維持できる場合は、有料修理をいたしますので、お買い求めの販売店にご相談ください。

■補修用性能部品の最低保有期間について

- ・この機器の補修用性能部品の最低保有期間は製造切替後7年です。
- ・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■連絡先

- ・お買い上げになった販売店、または下記へご連絡ください。



南 友 社	東京都港区南青山2-11-15番地	電話 大 東 06 (650)0001	☎557
北 友 社	東京都港区北青山1-1-1番地	電話 大 東 06 (301)1251	☎532
南 都 支 社	東京都港区南青山1-1-15番地	電話 東 京 0222(36)1131	☎590
北 都 支 社	東京都港区北青山1-1-1番地	電話 東 京 0226(7)10361	☎589
新 野 支 社	東京都港区新野1-1-1番地	電話 西 京 0798(26)3101	☎662
東 成 支 社	東京都港区東成1-1-1番地	電話 河 内 0729(62)1131	☎578
京 都 支 社	京都府京都市東区東山1-1-1番地	電話 桜 方 0720(41)1251	☎573
神 戸 支 社	神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1番地	電話 神 戸 078(57)5231	☎650
京 都 支 社	京都府京都市南区山科南町1-1-1番地	電話 京 都 075(231)8151	☎604
奈良 支 社	奈良県奈良市大和町1-1-1番地	電話 東 京 042(44)1111	☎631
和 歌 山 支 社	和歌山県和歌山市大和町1-1-1番地	電話 和 歌 山 0734(31)2481	☎640
徳 島 支 社	徳島県徳島市大和町1-1-1番地	電話 徳 島 0922(65)2221	☎670
愛 媛 支 社	愛媛県愛媛市大和町1-1-1番地	電話 加 吉 川 0794(21)1801	☎675
香 川 支 社	香川県高松市大和町1-1-1番地	電話 香 川 0798(2)3221	☎668
滋 賀 支 社	滋賀県彦根市大和町1-1-1番地	電話 東 京 0755(62)3511	☎525
鳥 取 支 社	鳥取県鳥取市大和町1-1-1番地	電話 鳥 取 0748(22)3131	☎522
(株)東芝研究所	東京都港区南青山1-1-1番地	電話 長 浜 0748(62)7171	☎526
本社ガスビルサービスセンター	東京都港区南青山1-1-1番地	電話 大 東 06 (202)2221	☎541